

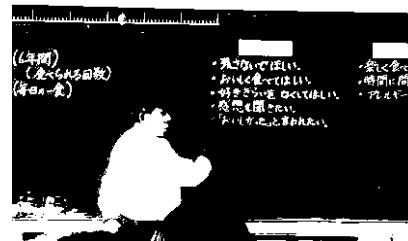
テーマ

感謝の心

対象 6年生

学級指導 11月

給食のよさについて考えよう



ねらい

○食事を大事にし、食物の生産等にかかわる人々へ感謝する心を育む。

展開

主な学習活動

□指導・支援 ☆評価 ◇資料

- 1 給食に関する数字を見せ、何を表す数字か予想する。
 - ・約 1200（6年間に食べる給食の回数）
 - ・65（卒業するまでに残っている給食の回数）
 - ・1（自分の考えた献立が採用された回数）

□残りの回数が少ないこと。自分の考えた献立が、その中の1回に含まれることに気付けばよい。（ヒントの用意）

給食のよさについて考えよう

- 2 給食を作っている人たちは、どんな思い出作っているか予想する。
 - ・安全に気をつける。
 - ・栄養やバランスに気を遣う
 - ・残らないようにする。
 - ・いろどりをよくする○考えたことを発表する。
- 3 給食にかかわっている人から話を聞く。
 - ・気付いたことをワークシートに記入しておく。

□ワークシートを用意しておく。

- 4 卒業までの残り65食を、どんな気持ちで食べるか考えさせる。

発表をする。

☆思い・願い。工夫・努力などに気付くことができる。

□事前に打ち合わせをしておく ☆ワークシート

◇給食に対する思い。苦労や工夫に気付くことができたか。

□短冊を用意し、自分の考えを書かせる。

☆自分の目標をもつことができたか。

□最後は全員の短冊を掲示板に全部貼り、読めるようにしておく。

□明日からの給食も、感謝の気持ちをもって食べることを確認する。

- 5 本時の学習を振り返る。